

## クロコノマチョウ

私のチョウ史は浅くてサラリーマン生活を終えてからである。それを機会にチョウを観察する時間帯が夜から昼に移行したのであるが、まだ数年前のことだと思う。

私がクロコノマチョウを初めて見たのは2008年のこと。それも幼虫を見つけて興味を持ったときから始まった。南方のチョウの北上がささやかれる頃、クロコノマチョウもそのうちの一種類で北上中のチョウであったと記憶している。

萬城の滝の観察会の最中に海苔巻きのように丸まった茅(カヤ)を見つけた。「住人！ごめんなさい」とばかりに丸まった茅を広げると列車のようにつながった黄緑色の幼虫が身動きもせず固まっている。頭が黒くて特徴のある形から図鑑でクロコノマチョウとすぐに判断できた。この年は茅の茂みがあると必ずといっていいほどこの幼虫が発見された。今思えば異常繁殖だったようである。翌年は幼虫が殆ど影を潜めてしまった。わずかであるが萬城の滝のクヌギ林の落葉の中をフワリと飛んでは落葉に身を隠して身動きしないでいる成虫を秋口に見かける。このまま越冬するのであろう。



2008年当時より数は減ったが我が家の庭から毎年クロコノマチョウが誕生している。2013年の終齢幼虫から羽化までの観察記録を以下に示す。人が歩くところなので途中からサナギの吊り下がった草(サクラタデ)ごと鉢に移して観察を続けた。所用のため留守にしたときに羽化が終わってしまった。

9月6日8時10分 家の裏でクロコノマチョウの幼虫を見つける	9月10日13時30分 食草の茅から下りて周りを這い回っている



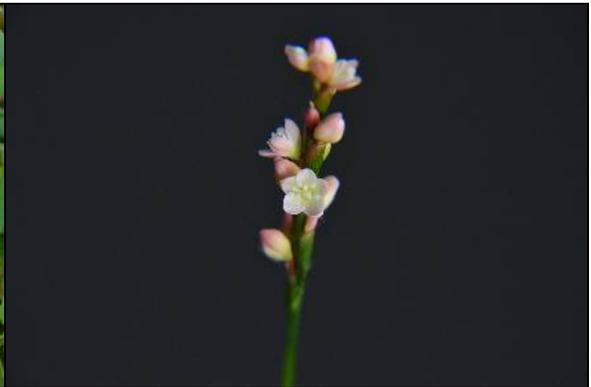
9月12日11時20分  
いよいよサナギになる蛹化が始まる



9月13日8時50分  
夜が明けると完全にサナギになっていました



9月13日14時30分  
サクラタデの地高5cmの所に吊り下がっている



タデの中でもサクラタデはきれいな花が咲きます



9月14日15時16分  
足で踏まれてしまいそうなので鉢に移しました



9月27日7時42分  
サクラタデに実が成ったように吊り下がっています



9月28日7時23分  
翅の部分が少し色づきました



9月28日16時44分  
色はさらにハッキリしてきました。



9月29日13時58分



9月26日、萬城の滝で撮る